

西洋と東洋の対比は相対的なもので、文化と歴史によって変化する。その対比を歴史的に概観し、中世以降の西欧における東洋についての表象の変遷をイメージで捉え、分析・考察する。

## 1. 最初の前提

- 1) 西洋と東洋：対比は文化的で、文化・歴史によって変化  
「東洋」の概念は、「西洋」（基本的に西ヨーロッパ）がユーラシア大陸の西の端に位置した、ということに基づき、「西洋」によって作られた。
- 2) 日本における「東洋学」の対象に、日本自体は含まれるか否か
- 3) 日本以外の「東洋」の国における「東洋」概念：韓国、インドの例など

## 2. 歴史的概観

- 1) ルネサンス以前
- 2) 古代ギリシア：ヘロドトス（エジプト、ペルシアなど）、プラトン（エジプト、アトランティス）、ギリシア人「若い民族」／エジプト人「古い民族」／ペルシア人「もっとも若い民族」など。「東／西」の対比は明確ではない。
- 3) ローマ時代：「オリエン特宗教」の流行。「東／西」の対比の創出  
ex oriente lux, ex occidente lex

## 3. 中世キリスト教の神話

- 1) ダニエルの夢：世界の四つの帝国
- 2) 世界史は東から西へと進む：バビロニア、メディア、ペルシア、マケドニア／バビロニア、ペルシア、マケドニア、ローマ—西ヨーロッパ／アメリカ（アウグスティヌスからヘーゲルまで）
- 3) 「エクゾティシズムの西欧的形態」（地図）：「東に上って西に沈む」（太陽の一日の運行）

## 4. 16 世紀以降

- ・ 16 世紀：日本の世紀（イエズス会の世紀）
- ・ 17～18 世紀：中国の世紀（イエズス会の世紀、「フィロゾフ」の世紀）
- ・ 18 世紀：エジプトの世紀（フリーメーソンの世紀）
- ・ 19 世紀：インドの世紀（ロマン主義／神秘主義の世紀）
- ・ 20 世紀：「科学」の世紀；仏教の世紀

## 使用資料：

彌永信美『幻想の東洋：オリエンタリズムの系譜』青土社、1996 年（新装版）